



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第30号(2008年9月29日)



ドバイの建設ラッシュ (タワー編)

不動産の建設ラッシュに沸くドバイですが、現在計画中のものも含めると、2025年までになんと約3,000棟もの様々な高さのタワーがドバイに建設される予定だそうです。中でも、140km²という広大な敷地に建設が計画されているドバイ・ワールド・セントラル(DWC)には、1,100棟もの住居棟と、850棟の商業棟が建設される予定であり、完成すれば約100万人以上の人々が暮らす巨大都市が誕生することになります。その他、ドバイ・マリーナとジュメイラ・レイクタワーズに現在約200棟が建設中であり、さらにドバイ・ウォーターフロントとジュメイラビレッジ・サウス、それにドバイ・ランドでそれぞれ約100棟が建設される予定となっています。

国土の面積が約4,000km²(日本の埼玉県とほぼ同じ大きさ)、人口が約140万人程の小さなドバイにこれほどの数のタワーが建設されるとは、まさに驚きです。

ちなみに、人口約800万人の米ニューヨーク市には、現在約5,500棟の高層タワーが建っているようですが、この勢いで建設が続けばドバイの街並みが摩天楼で有名なニューヨークのようになる日もそう遠くないのかもしれません。
(ミドル・イーストウッド)

「ドバイ・ワールド・セントラル(DWC)」



高層ビルの建設が進むドバイ市街



出所: Gulf News



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



運河のある町、ドバイ

ドバイは町の中央を流れるクリーク(運河)によって、デイラ地区とバール・ドバイ地区に分かれています。バール・ドバイ地区へは、アブラと呼ばれる水上タクシーを使って行きます。相乗りだと、1ディルハム(約30円)ですが、人数が満員になるまで待たされることとなります。チャーターすると、20ディルハム(約600円)なので、すぐに出発することができます。

このアブラ(水上タクシー)に乗っていると、ゴルフボールを頭に乘せたような建物が見えてきます。これは電話局 ETISALATの建物です。イスラム圏はどこに行っても電話局は同じデザインでつくられています。そして、5分ほどアブラを乗ると、ゴールド・スークへすぐの船着場に到着です。連日、夕方近くになると賑わいを見せるのですが、特に日が暮れる頃からはどのお店もライトアップされて金が本当に眩しいくらいに輝いています。

金のアクセサリーはアラブ風のデザインのものが多く、値段は重量で決まることが多いのですが、交渉次第では加工賃が安くなることもあります。ただし、金は日本で人気の18金よりは、22金のものが多いようです。女性にはお願いだから見るだけにして～と言いたくなります。(中東採用)

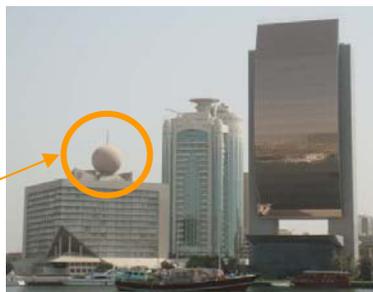
水上タクシー アブラ



ゴールド・スーク



水道局 ETISALAT



ゴルフボールを頭に
乗せたような建物

金が眩しいゴールド・スーク内部



出所: 現地にてSPARX撮影



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



中東の民族衣装…日本発が人気？

多くの中東諸国では、男性はトーブと呼ばれる民族衣装を着用し、女性は、イスラム教に基づきアバヤという黒い服で全身を覆い、頭もシェイラと呼ばれるスカーフで隠します。

例えば、サウジアラビアでは、通常男性は、肩から全身を覆う一枚の布で作られた服、トーブを着ることが主流になっております。トーブは、暑い砂漠の気候に合わせ、白やクリーム色のゆったりとした、とても着心地のいいものになっているそうです。そこに、チェック柄の赤や白い布を頭に巻き、黒や茶色の輪を乗せます。そのような、中東の男性の白いトーブ姿、威厳ある民族の誇りのようなものも感じさせてくれます。女性については、小学校上級年くらいになると、アバヤとシェイラを着用し、家族以外の男性には肌や髪を隠すことが義務づけられています。これには女性を保護するという目的がありますが、実は彼女たち、そのアバヤの下には、しっかり流行も取り入れて、お洒落な服を楽しんでいるということです。

ところで、ここ数年、中東の民族衣装に使われる、日本製の生地などの人気が高まっているそうです。トーブや女性用のアバヤなどに使われる生地は、他のアジア製品より3割から5割増しにもかかわらず、中東からの需要が増えています。品質の確かさや肌ざわりや風合い、日本の技術力の高さが評価されており、一部では生産が追いつかなくなっている企業も現れています。一時は、他の輸出国との価格競争に敗れ、撤退を余儀なくされた企業もあったということですが、ここに来て再び活気づいているようです。

(老いる招き猫)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数



クウェート証券取引所指数



出所:ブルームバーグ

アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。